

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai

慈雲



此濁惡處

地獄餓鬼畜生

盈満多不善聚

この濁(じよく)悪処(あくしよ)は地獄・餓鬼・畜生盈満(ようまん)して、不善の聚(ともがら)多し。

【『観経』の言葉】

前回から欣浄縁(ごんじようえん)という一段に入っています。浄土を願うところですが、ここはただこの世を厭う内容で満ちています。韋提希夫人にとつては、息子阿闍世によつて夫である王を幽閉して死に至らしめられたこと、その我が子をしてのかした提婆達多がいるこの世はまさにこの文章のように感じられたでしょう。

しかし善導大師は次のように解説しています。地獄餓鬼畜生の三悪道はどこかにいるのではなく、自らがその心から生み出したものであり、それをまた自ら好んで飲み込んでいるといいます。不善の聚とは、そのような心をもつ我々人間の数ほど多いというのです。驚くべき解釈です。

今月は

光闡(こうせん)横(おう)超(ちよ

う)大誓願(だいせいがん)

広由(こうゆ)本願力(ほんがん

りき)回向(えこう)

為度(いど)群生(ぐんじょう)彰

(しょう)一心(いっしん)

の三句を学びます。

「横超の大誓願を光闡す。

広く本願力の回向によりて、群生を度せんがために一心を彰す」と読みます。おおよその意味は、天親菩薩は横超の大誓願といわれる阿弥陀の本願を説かれました。そして広く本願力の回向に基づいて我々群生の為に一心をあらわされました。というような意味です。まず一句目をみていきましょう。天親菩薩は『浄土論』という書物をお書きになりました。その中で何をお述べになられたかという一言でいうと阿弥陀如来の本願なのです。本願をまた誓願とも言います。それはとても大きく勝れているということ。「大」の字をつけたりします。「横超」とは親鸞聖人が明らかにされた教えの一つに次の

ようなことがあります。仏教に様々な教えがありますがその分類方法です。まず「豎」と「横」に分けます。豎は自力の教えであり、禅宗とか真言宗などに当たります。それに対して横は他力の教えであり、浄土宗や浄土真宗がそれに当たります。その「横」の中でさらに「出」と「超」に分けます。出は浄土宗や、念仏に出会ってもそれを頼みとする態度の事を指します。超は全く他力であり、自らの功をいささかも入れない絶対信順の態度であり、私たちがよりどころとするお念仏の教えの事です。その教えに触れたら苦しみや悲しみの多いこの世にありながら心にもポツと灯りがともることがあるではありませんか。それを「光闡」という二文字で表しています。

つぎに二句目、三句目です。天親菩薩はひたすらその阿弥陀仏の本願力に依られました。そしてみずからその態度を言葉にされて「私は一心に阿弥陀如来に帰依します」とおっしゃられたのです。その一心は天親菩薩の心に起きたものですが、自分が起こしたのではなく阿弥陀さまの本願が私のところまで届いて私の心を押し開いてくださったのだと

受け取られたのです。天親菩薩が優秀な宗教者であり、その方が自らの力量で一心に帰依されたのならばそれはどんなに素晴らしいことであっても私たちとは関係のない出来事になってしまいません。天親菩薩の身に起きた「一心」は言いかえたら阿弥陀如来の御心がそのまま天親菩薩という人格を通してこの地上に降りてきたものということができません。ですから「群生を度す為に」といわれるのです。群生は群がって生きる事しかできない私たちのことでもあります。「度」は渡すの意味です。日常の世界から精神の世界へ渡す、物質や欲望にどっぷり漬かっている私たちを心の豊かな穏やかな地へ渡す、などいろいろと考えられます。三月は彼岸の月ですが、苦しみ悩み多い此岸から生き生きとした喜びの世界である彼岸へ渡すというのがこの「度」の字の基本的な意味です。一人の念仏者が誕生することのもつ大きな意味がここにはあります。お念仏を喜ぶ人は「為度群生彰一心」の役目を果たしていることになります。



【お彼岸のお知らせ】

三月二十一日（水・祝）

春の彼岸会法要を勤修します  
午後一時より納骨堂を開きます

二時 お勤め

三時 法話 茨田通俊氏

（願光寺住職）

四時 慈雲会総会

総会終了後 お斎

【慈雲会総会のお知らせ】

三月二十一日（水・祝）彼岸会法話終了後  
議題 平成二十九年 行事・事業報告

平成二十九年 決算報告

平成三十年 事業計画説明

平成三十年 予算説明

その他

【お磨きのお知らせ】

彼岸会法要に先立ち、仏具のお磨きを  
します。皆様ふるってご参加下さい。

三月十五日（木）午前九時より

【瑞蓮寺 行事予定】

来年度の瑞蓮寺の行事予定をお知  
せします。

平成三十年

五月十七日（木）午前九時

夏の御磨き

八月一日（水）午前八時三十分

お盆の御磨き

九月十五日（土）午前九時

秋の彼岸の御磨き

九月二十三日（日・祝）午後二時

秋の彼岸会

十一月八日（木）午前九時

報恩講の御磨き

十一月十一日（日）午後二時

報恩講並びに帰敬式

十二月十八日（火）午前九時

お正月の御磨き

【瑞蓮寺 同朋の会】

来年度の同朋の会の日程が決まりまし  
たので、お知らせします。

平成三十年

四月七日（土）午後二時

初参り式

五月十二日（土）午後二時

歌声ひろば

六月 九日（土）午後二時

「釈迦の十大弟子①」

七月七日（土）午後二時

「釈迦の十大弟子②」

九月八日（土）午後二時

「釈迦の十大弟子③」

十月六日（土）詳細は後日お知らせ

遠足 南山城方面

十一月二十四日（土）詳細は後日お知らせ

東本願寺 報恩講 団体参拝

十二月一日（土）詳細は後日お知らせ

第四回写真コンテスト

【編集後記】

今年最初の『慈雲』いかがでしたし  
ようか。今回から田阪が編集をさせて頂  
くことになりました。皆様にお寺の行事  
等をお伝えすることによって、できるだ  
け多くの方にお寺の行事等を知って  
もらえればと思います。どうぞ宜しくお願  
い致します。

田阪裕章